

第6回 「日本語大賞」

テーマ

^{いま} ^{つた} ^{ことば}
「今、伝えたい言葉」



一般の部 優秀賞 受賞作品

また明日

熊本県

学校法人湖東学園

専門学校湖東カレッジ唐人町校

中川 愛梨

また明日

熊本県 学校法人湖東学園専門学校湖東カレッジ唐人町校 中川 愛梨(なかがわ えり)

今、いろんな国で戦争がおきている。人と人が殺し合い、罪もない人が殺され、友人が殺され、一人ぼっちになってしまった人が大勢いる。それでも戦争は終わりません。

日本では、小学校一年生の女の子が行方不明だと連日ニュースなどで報道されている。また、デング熱の感染者がいまだに増加している。対処方法はこうです、感染ルートはここからです、と毎日ニュースでみる。二つのニュースと同じように多くみるのが、

「今日未明、〇〇さんが殺害されているのが発見されました。」

「今日未明、〇〇さんが隣の家の〇〇さんになぐられ、意識不明の重体です。」
という、傷害や殺人事件のニュースです。

今まであげてきた事柄の中で、明日死んでしまう、明日行方不明になる、明日隣の人に殺されてしまう、と考え想像できる人はいるのでしょうか。明日怒ることを想像して、対策をとる人はいるでしょうか。今日、この後何が起るかわからない時代、明日のことがわかる人なんていません。今の時代、一日が無事に終わることが、明日がくるということが、奇跡とっていいと思うのです。

私は、高校の時、大事な人を病気で亡くしました。その人は四歳上で、同じバンドグループに所属し、お兄さんのような存在でした。何かあればすぐ気付いてくれ、
「何かあったか。元気ないぞ。」

と心配し、助けてくれる、ヒーローみたいな存在でもありました。誰にでも親切で、自分のことは後回しでも、仲間のために動けるような人で、みんな彼が大好きでした。

ある日、彼が倒れ病院に運ばれたと聞きました。病気は進行し、もうだめなの、と彼のお母さんから言われました。その言葉を聞いた時、みんなで泣きました。昨日まで普通だったのです。なぜ、と思いました。仲間全員が思ったことです。

病室に行った時、彼はいつも通りの笑顔で話をしてくれ、帰る時間になると、

「また明日な。」

と言ってくれるのです。

「また明日。」

これは、彼の口ぐせです。なぜ口ぐせなのか、彼が亡くなるまでわかりませんでした。次の日も、次の日も、みんな病院に行きました。次のライブはいつする、何の曲をする、たわいもない会話をしました。そして帰る時間になって、

「また明日な。」

「うん、また明日ね。」

と、いつも通り別れました。この時みた笑顔が、彼の最後の顔です。

彼の葬式が終わり、みんなとても悔しそうでした。もちろん、私も悔しい気持ちでいっぱいでした。今まで嘘をついたことのない彼が、最後に唯一ついた嘘が、

「また明日。」

でした。また明日と言いながら、次の日はいなくなりました。昨日の言葉は嘘にかわってしまったのです。今までいろんな嘘を経験してきましたが、彼がついた嘘は、今までで一番、そしてこれから先も一番、私達を傷つけ、悲しい気持ちにさせる嘘でした。

葬式から数日がたち、私たちは彼の家に呼ばれました。その時、彼のお兄さんから

「俺がもし死んだら渡してほしいと頼まれたから」

と手紙をもらいました。その手紙には、病気になり辛いということ、またバンドをしたいということ、普通の生活に戻りたいということ、彼の気持ちが素直に書かれていました。そして最後に「また明日。」ということが書かれていました。

「また明日は大好きな言葉。みんなに理由を言っただけでなかった。みんなは当たり前のように明日がくると思ってる。でもそれは違う。いきなり死ぬかもしれない。明日がくることは奇跡だと思うんだ。また明日ということ、明日への希望ができる。明日は何しようって。病気になって改めて思った。お前らに明日なんて言われる度に、明日も来てくれる、頑張んなきゃって思えた。今、また明日なんていえないから違う言葉で。ありがとう。また来世な。」

私はこの手紙を何度も読み返し、暗記するまでになりました。落ちこんだり、悩んだりすると、この手紙が勇気をくれるのです。私たちは今だに彼の家に遊びに行き、みんなでいろんな話をします。彼の家を出て、それぞれの方向へ進む時、必ず、

「また明日。」

と言います。私たちの口ぐせです。

最初に話した通り、明日何がおきるかわかりません。今日一日が奇跡だから。だからこそ、今日一日を精一杯生き、感謝しなければならぬと思うのです。そして、明日が来ることを当たり前だと思わず、感謝しなければならぬ。

「また明日。」

明日への希望や願い、全てがこもった言葉です。この言葉を大切にし、みんなに伝えたいと思います。